岩盤ボーリング柱状図

調査名	砂防指定地内河川　天楽川1号　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	No.3	調査位置	広島県三次市作木町下作木			北緯	34° 52′ 00.8200″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年 4月15日～ 令和4年 4月18日			東経	132° 43′ 15.1600″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 145.72m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	28° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	6.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型			
			エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12		ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位／測定月日
1	144.72	1.00		砂混り礫	暗褐								φ10～70mm程度の角礫が主体である。200mm程度までの玉石が混入する。	
2	143.22	2.50		礫質土	暗褐							[0] (100)	φ2～30mm角礫を混入する。砂は細砂でシルト分を含有する。	4/16 2.50
3	143.02	2.70		流紋岩	青灰～褐	w3 w4	h2 h3	C D	IV V	c d	CL D	[0] (100)	岩心は硬い。縦キレツによりコアは岩片状となる。コアは土砂状、礫状、岩片状となる。孔壁の崩壊あり。	4/18 3.50
4	142.02	3.70										[0] (100)		
5	140.92	4.80			青灰	w3	h2	C	IV	c	CL	[0] (100)	コアは主に礫状～岩片状となる。孔壁の崩壊あり。	
6	139.72	6.00										[0] (100)	斜交キレツが多数発達し、キレツ面は褐色に変色している。	

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
18	1.15	18		
	1.45	300		
25	2.15	25		
	2.45	300		
50	3.05	50	300	
	3.35	300		
50以上	4.00	50	160	
	4.16	160		
50以上	5.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		4/15	2	86/ケーシング	S/MC	0	60	0	W30	0
			2	66/ケーシング	S/MC					
			0			0	110	0	W46	5
		4/16	0		HW/DI					
			1			0	90	0	W46	6
		4/18	0							